

市政を問う

平成21年 第3回定例会一般質問 質問事項・答弁の要旨

議員の一般質問の質問事項及び答弁の要旨について、一定のスペース内で様式は自由に各議員がまとめたものを掲載しています。

民間委託と市内業者との 契約を健全に

自民党・新和会 いたう 太郎

1) アウトソーシングについて

市長が施政方針で述べられた民間委託について、かねてからお願いをしてきました給食調理員代行システムはどのような状況でしょうか？
教育部長) 全員で60名で、その内正規職員が23名と非常勤職員の比率が半数以上になっているのが現状で、今後検討をしていきたい。

2) 教育委員会の件で、小中学校の図書司書がモデルケースを経て、レベルアップ致しました。小学校には週5日司書が配置されましたが、中学校には未だ週3日しか配置されていません。読書は心を癒してくれたり、人間性を厚くしてくれたり、今こそ読書をする時間を増す必要があると思っています。国の考え方からすると全学校に専任の図書司書を都教委が配置するのが本来の姿とは思いますが、現在では市費で配置しなければいけないことを理解した上で、中学生にあと2日、図書司書の加配をお願いします。
教育長) そういった方向で努力していきたい。

3) 契約社会に向けて！ 市が作成する仕様書について、人工等精密な仕様書を作成して、業者とのトラブルの回避等、対策をお願いします。
総務部長) 公契約条例の原案の作成中ですので、その中で21年度末までに、この問題については検討を加えていきたい。

4) 緑の基本計画について！

①緑被率と生産緑地の解除について

今までの計画では現在の緑被率は35%を目標としてきましたが、実際は26%位です。対応は？
市長) 都市農業を守るため相続税の見直し要望。

喫煙スポットの近隣対策と 道路の安全策

市民サイド 森 喜行

●喫煙スポットの近隣対策について…4月1日から駅構内が全面禁煙になったことで市内5ヶ所に設置された喫煙スポットに煙害が集中し、場所によってはマンション7階のベランダに干した布団に臭いが染み込むなど、混乱が生じていることを指摘、鉄道事業者へは新たなスポット設置場所の提供、J Tへは器具の追加提供と集煙設備等の協力依頼を行うよう求めました。また、4月からの新たな状況への対応として、分散、増設を含めた設置場所の見直し、児童への配慮、環境に配慮した廃液の処理方法など、丁寧な分煙、近隣対策を求めました。

●道路の安全対策について…交通事故に際して警察の現場検証の目的が事故の場所の問題点を特定するものではないことを指摘、実際に泉町三丁目で発生した人身事故の実況検分に沿って道路の管理者としての市の対策の必要性を質しました。急カーブという地形の特質、停止線の

位置、センターラインの消失から見えるクルマの走行特性を説明し、事故多発地点の速度抑制対策など道路の改良点を指摘、事故情報を蓄積している小金井警察とも緊密な情報交換をしながら、事故が多発している場所ごとの道路状況を分析し、路面や表示方法の改良など、きめ細かな対策で事故防止を進めるよう求めました。また、市内の特に危険な坂道の自転車対策とともに夏の対策として市内1500ヶ所余のカーブミラーを植物の繁茂から守る対策なども質しました。最後に富士本二丁目交差点改良事業の進捗状況を聞き、近隣への周知を求めました。

ヒブワクチン公費助成 来年4月スタートへ

公明党 さの 久美子

1. ヒブワクチン公費助成について

後遺症の重い小児細菌性髄膜炎。この予防に有効なヒブワクチン接種は高額かつ回数も多く、親の負担が大きい。幼い命を守るために、都の包括補助制度の活用で公費助成を始めるべき。
市) 予算計上し、22年度から実施できるように体制を整えていきたい。金額・回数等は検討。

2. 女性特有のがん検診推進事業について

子宮がん、乳がん検診無料クーポン券の事業の市のスケジュールと対応を示せ。早期実施を求める。
市) 子宮がん検診は、小平市との乗り入れ開始で15医療機関での受診が可能となる。11月には該当者に検診手帳とともに送付予定。

3. 西国分寺駅北口自転車駐車場について

改修工事に合わせ、防災面からも周辺道路拡幅などの整備、A E Dの設置、青色L E Dの照明の実験的設置を求める。
市) 今回、駅前広場までの道路を6mに拡幅する。今後は北側も早期に広い道路の確保をしたい。A E Dは早期に設置、L E D照明についても前向きに検討する。

4. 防火貯水槽の普及について

防火貯水槽の整備計画は。震災時に必要だが、整備率は多摩ワースト2。何らかの方策が必要。
市) 長期総合計画の中で隔年一つの設置計画。いろいろな方策を検討していきたい。

5. 防災協力農地の活用について

周知の為のHP掲載や小中学校学区ごとのマップ作成は評価。地域コミュニケーションの再認識のため、防災協力農地を利用して、地域やP T A参加型の防災訓練実施の検討を求める。

祥應寺のコノテカシワを 東京都天然記念物に

自民党・新和会 新海 栄一

問) 人事院が給与引き下げ勧告を出した。市も引き下げるのか。また労使交渉の公開の実現は。
総務部長) 10月の都の人事委員会勧告に従う。労使交渉の公開は粘り強く交渉していく。
問) 連雀通り本多2丁目交差点北東側の空店舗

が危険な状態になっている。安全対策は。
環境部長) 現在の所有者に40回程電話をして、早急な解体、または囲み込みを求めている。

問) ふんバス本多ルートは朝の混雑で乗車できない状態である。増便・時間短縮等できないか。
都市建設部長) 他ルートも考慮し増便は難しい。時間短縮は運送法等ふまえて検討していく。

問) 本多公民館・図書館空調設備改修工事の進捗状況と代替施設の利用状況について。

教育部長) 工事は順調に進み、7割まで終了。9月より図書館側の工事に入る。代替の二中、七小、児童館、旧2分団詰所他も順調に稼働中。

問) 家庭ごみの減量が周辺市より遅れている。今後の目標と有料化の可能性は。

環境部長) 1人1日当たり国分寺市が504g、小金井市が388gと大きな差があり、減量が遅れている。今後さらに減量化を進めるが、このままでは有料化を実施する時期が来ると思われる。

問) 国分寺駅開業120周年に当たり、開設者小柳九一郎の業績と顕彰碑に広報看板の設置を。
市民生活部長) 駅周辺の記念碑については、教育委員会と相談しながら取り組んでいきたい。

問) 市指定天然記念物コノテカシワを都指定に。
教育部長) 都・市による調査、評価を踏まえた上で、国分寺市の候補物件として報告していく。

子供達への新型インフルエンザ 対策は万全か

公明党 高橋 りょう子

【新型インフルエンザ対策】

①本日から新学期。市内小中校生の罹患状況は。
市) 夏休み中は合計18件の報告があり、始業式の本日は、小学校17人、中学校2人が新型インフルエンザの症状で欠席している。

②休校や学級閉鎖となる判断基準は。

市) 都では、同一集団の1割が罹患した場合とし、休み期間は4日間。本市では、更に校医や保健所等と検討し、決めたい。

③学童保育に通う児童やその家庭への対応は。
市) 帰宅場所に保護者が不在の場合は、預かることを前提に具体策を詰めたい。

④腎臓病、喘息、アレルギーなど重篤化しやすい持病を持つ児童・生徒の把握とその対策は。
市) 現在は、健康調査票による把握なので再度詳しい調査を実施し、把握に努めたい。

【高齢者・障がい者の生活支援】

該当する方々の生活不安要素の認識は。又緊急時に救急隊等へ情報(病歴、血液型等)提供となる「安心カード」を冷蔵庫に常備しては。

市) 市民意向調査によると75%の方が病気に不安を抱く。「安心カード」の件は検討したい。

【薬物乱用の低年齢化への懸念】

本市の学校等での対策は。また警察・保護者・地域一体での効果的な啓発対策を望む。

市) 小中校とも発達段階に応じた学習を実施。

【児童等の提案・要望への取り組み】

小学生の作文、史跡を巡る国分寺マラソンの提案など、市をPRする具体的な取り組みを望む。
市長) 子供市民の提案を生かす町作りをしたい。